

令和 7 年度

由仁町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

令和 8 年 7 月

由仁町教育委員会

— 目 次 —

1	点検・評価の基本的な考え方	1 ページ
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の実施方法	
	(4) 事務評価委員の構成	
	(5) 点検・評価の公表	
2	教育委員会の活動状況	3 ページ
	(1) 教育委員等の構成	
	(2) 教育委員会の開催	
	(3) 教育長、教育委員の活動状況	
	(4) 教育委員会関連委員会の活動状況	
	(5) 教育関連の表彰	
3	規則等の制定について	8 ページ
	(1) 教育委員会規則	
	(2) 教育委員会訓令（規程、要綱等）	
4	教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況	9 ページ
	(1) 学校教育の充実	
	(2) グローバル化社会に対応した人材の育成	
	(3) 教職員の指導力向上と働き方改革の推進	
	(4) 地域に根ざした学校づくり	
	(5) 安全・安心な地産地消による学校給食の充実	
	(6) 大学・高校との連携の推進	
	(7) 生涯学習の推進	
	(8) 芸術・文化、スポーツ活動の推進	
5	事務評価委員会の総括意見	17 ページ

1 点検・評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

由仁町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成・公表することとしています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和7年度教育行政執行方針に示された8項目の基本施策に基づいて実施した事務事業としました。

- 1 学校教育の充実
- 2 グローバル化社会に対応した人材の育成
- 3 教職員の指導力向上と働き方改革の推進
- 4 地域に根ざした学校づくり
- 5 安全・安心な地産地消による学校給食の充実
- 6 大学・高校との連携の推進
- 7 生涯学習の推進
- 8 芸術・文化、スポーツ活動の推進

(3) 点検・評価の実施方法

令和7年度の基本施策に基づく主な取組の内容、成果や課題を明らかにして施策評価を行いました。

個別の事務（取組）については、以下の観点（基準）により評価を行いました。

- A：期待する成果があったもの
- B：期待される成果が得られたが、なお解決する課題があるもの
- C：期待する成果が得られなかったもの

(4) 事務評価委員の構成

「由仁町教育委員会事務評価委員会設置要綱」に基づき、事務評価委員2名を委嘱しています。

職 名	委 員 名	役 職 等
委 員 長	前田 直樹	会社役員 元由仁町教育委員
副 委 員 長	吉田 真由美	自営業 元由仁町教育委員

(5) 点検・評価の公表

点検・評価終了後、その結果をとりまとめた報告書を由仁町議会に提出するとともに、報告書を町民に公表します。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は、毎月1回の定例教育委員会を基本とし、必要に応じて臨時教育委員会を原則として公開により開催しています。

この会議において、教育長及び4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定など様々な議題について審議しています。

(1) 教育委員等の構成（令和7年11月1日現在）

職 名	氏 名	委員就任年月日		期数
教 育 長	石 井 洋	初 任	令和4年10月1日	2期目
教育委員	窪 田 裕 司	初 任	令和元年10月7日	2期目
		職務代理者	令和4年10月3日	
教育委員	山 川 大 順	初 任	令和4年10月1日	1期目
教育委員	河 端 直 美	初 任	令和6年10月1日	1期目
教育委員	清 水 理 絵	初 任	令和7年10月22日	1期目

※ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正による新たな教育委員会制度が施行されたことに伴い、教育長は就任日より教育委員会の代表者となる。

※ 各職の任期は、教育長が3年間、教育委員が4年間である。

(2) 教育委員会の開催

種別	開 催 日	付 議 案 件 等
定例	令和7年4月11日	(協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 由仁町議会第1回定例会教育行政報告について 外7件
定例	令和7年5月8日	(議案) ・ 令和7年度における由仁町就学援助の額について 外1件 (協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 専決処分事項の報告について 外6件

種別	開 催 日	付 議 案 件 等
定例	令和 7 年 6 月 3 日	(議案) ・ 令和 7 年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について (協議) ・ 令和 7 年度空知教育局学校教育指導訪問及び由仁町教育委員学校訪問について 外 1 件 (報告) ・ 小学校体育専科教員活用事業について 外 6 件
定例	令和 7 年 7 月 10 日	(協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 由仁町議会第 2 回定例会教育行政報告について 外 5 件
定例	令和 7 年 8 月 5 日	(議案) ・ 令和 6 年度由仁町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について (協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 教育長及び教育委員の任期満了について 外 2 件
定例	令和 7 年 9 月 3 日	(議案) ・ 令和 7 年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について (協議) ・ 令和 7 年度ゆに教育の日について 外 2 件 (報告) ・ 専決処分事項の報告について 外 4 件
定例	令和 7 年 10 月 7 日	(議案) ・ 由仁町学校運営協議会委員の任命について (協議) ・ 令和 7 年度由仁町教育委員会表彰について 外 2 件 (報告) ・ 教育長並びに教育委員の任命について 外 4 件
臨時	令和 7 年 10 月 28 日	(協議) ・ 令和 7 年度由仁町教育委員会表彰について
定例	令和 7 年 11 月 5 日	(協議) ・ 由仁町教育総合会議について 外 2 件 (報告) ・ 令和 7 年度由仁町立小中学校教職員の時間外在校時間（上期）について 外 2 件

種別	開催日	付議案件等
定例	令和7年12月9日	(議案) ・令和7年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・由仁町総合教育会議について 外5件
定例	令和8年1月9日	(議案) ・伏見台球場の指定管理者の指定について 外3件 (協議) ・令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 外1件 (報告) ・由仁町議会第4回定例会教育行政報告について 外2件
定例	令和8年2月5日	(協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について 外7件
臨時	令和8年2月20日	(議案) ・令和8年度公立小中学校校長人事について
臨時	令和8年2月27日	(議案) ・令和7年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について 外4件
定例	令和8年3月19日	(議案) ・由仁町内の小中学生及び小中学生が所属する団体の施設使用料の減免について 外7件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和8年度由仁町小中一貫教育の実施について 外5件

(3) 教育長、教育委員の活動状況

日 付	主な内容	会 場
令和7年4月2日	教職員辞令交付式	役場3階大会議室
令和7年4月8日	由仁小中学校入学式	小中学校
令和7年4月24日	アカデメイア・ユニ入学式・開講式	健康元気づくり館
令和7年5月30日	由仁中学校体育大会	中学校
令和7年6月7日	由仁小学校運動会	小学校
令和7年6月20日	空知教育局学校教育指導訪問及び由仁町教育委員学校訪問	小中学校
令和7年7月13日	第35回全町自治区対抗ソフトボール大会	中学校グラウンド
令和7年7月17日	北海道市町村教育委員会研修会	札幌市
令和7年9月5日	由仁中学校学校祭	中学校
令和7年10月18日	由仁小学校学習発表会	小学校
令和7年10月21日 ～23日	施設分離型義務教育学校先進地視察	岡山県・鳥取県
令和7年10月28日	教育委員辞令交付（清水教育委員）	役場応接室
令和7年10月31日	ゆに教育の日一斉公開授業	来訪者202人
令和7年11月1日 ～3日	第59回由仁町文化祭	文化交流館
令和7年11月5日	由仁町教育委員会表彰式	役場3階大会議室
令和7年11月16日	第59回由仁町文化祭「芸能・音楽発表会」	文化交流館
令和7年11月26日	教育委員学校訪問及び学校経営中間報告	小中学校
令和7年11月26日	夢づくり子ども教育委員会	健康元気づくり館
令和7年12月16日	アカデメイア・ユニ卒業式・修了式	文化交流館
令和7年12月23日	第1回由仁町総合教育会議	役場3階大会議室
令和8年1月3日	令和8年由仁町二十歳のつどい～ふるさとを想う～	文化交流館
令和8年3月12日	由仁中学校卒業式	中学校
令和8年3月19日	由仁小学校卒業式	小学校

(4) 教育委員会に関連する委員会の活動状況

委 員 会 名	開 催 日	会 場
由仁町社会教育委員の会	令和7年6月3日 令和7年12月3日	役場3階大会議室
由仁町スポーツ推進委員の会	令和7年5月8日	役場3階大会議室

委 員 会 名	開 催 日	会 場
由仁町学校運営協議会	令和 7 年 6 月 25 日 令和 7 年 10 月 27 日 令和 8 年 2 月 16 日	役場 3 階大会議室 ※ 2 回目書面開催
由仁町学校給食運営委員会	令和 7 年 6 月 25 日 令和 8 年 2 月 16 日	役場 3 階大会議室
由仁町小中一貫教育推進協議会 運営委員会 運営委員会 全体会議・合同部会・専門部会 合同部会・専門部会 合同部会・専門部会 合同部会・専門部会 合同部会・専門部会 研究大会	令和 7 年 4 月 3 日 令和 7 年 4 月 10 日 令和 8 年 2 月 19 日 令和 7 年 4 月 28 日 令和 7 年 7 月 14 日 令和 7 年 9 月 11 日 令和 7 年 11 月 5 日 令和 8 年 1 月 29 日 令和 7 年 11 月 20 日	教育委員室 役場 3 階大会議室 役場 3 階大会議室 中学校 中学校 中学校 中学校 中学校 中学校
部活動地域移行推進協議会	令和 7 年 6 月 30 日 令和 8 年 3 月 23 日	役場 3 階大会議室
スクールバス検討委員会	令和 7 年 11 月 14 日	役場 3 階大会議室

(5) 教育関連の表彰

ア 由仁町教育委員会表彰

本町の学校教育振興、スポーツ振興に功績のあった個人を表彰しました。

- ・表彰式開催日 令和 7 年 11 月 5 日
- ・表彰式会場 由仁町役場 3 階大会議室

区 分	被 表 彰 者
学校教育振興	新屋 礼子 (学校給食に手作りみそを 10 年間無償提供)
スポーツ成績優秀	窪田 洋祐 (オリックスバファローズからドラフト 4 位指名)

イ がんばる子ども表彰

部活動や学校生活において顕著な成績を残した子どもたちを表彰しました。

区 分	被 表 彰 者	推 薦 者
学芸賞 (個人)	・小川 華 (小2 絵画) ・国立 紗礼 (小2 絵画) ・佐藤 滢里 (小4 書写) ・高橋 まのあ (中3 人権作文) ・佐藤 碧衣 (中3 少年の主張ほか)	学校
体育賞 (個人)	・吉野 奏翔 (小2 ランバイク) ・柳谷 空太朗 (小6 トレイルランニング) ・中川 育磨 (中1 ハンドボール) ・横井 なつ (中3 新体操) ・春日 桃 (中3 水泳) ・柴田 丈栄 (中3 野球) ・吉田 暁 (中3 野球)	学校
	・黒沼 光誠 (小4 空手) ・水野 統晴 (小5 空手)	少年団
体育賞 (団体)	・由仁中学校女子ソフトボール部 ・由仁中学校野球部	学校
努力賞 (個人)	・早坂 蓮 (小6 空手) ・宮本 陽向 (小6 野球) ・中田 琉花 (小6 野球)	少年団

3 規則等の制定について

(1) 教育委員会規則

件 名	公布年月日
由仁町スポーツ推進委員に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月19日
由仁町教育委員会事務局組織の一部を改正する規則	令和8年3月25日

(2) 教育委員会訓令（規程、要綱等）

件 名	公布年月日
由仁町いじめ問題対策会議設置要綱を廃止する訓令	令和8年3月19日
由仁町立学校職員の自家用車の公用使用に関する規定の一部を改正する訓令	令和8年3月19日
スクールバス運転業務に従事する職員の任用等に関する取扱要綱の一部を改正する訓令	令和8年3月19日
由仁町教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令	令和8年3月25日

4 令和7年度教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	①基礎学力向上	全国学力・学習状況調査の全校実施	○		●		◆ 全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に国語、算数（数学）、理科の3教科で実施した。小学校では、算数、理科において全国平均を上回った一方、国語では全国平均を下回った。中学校では、国語、数学、理科のいずれも全国平均を下回った。 ◆ 調査の分析結果を踏まえ、各学校及び由仁町小中一貫教育「学び」をつなげる委員会教育研究部で評価分析し、児童生徒の学習到達状況や課題の把握、学力向上を目指した改善策を講じた。 ◆ 児童生徒が学習内容を着実に定着させ、学力向上を実感できるようにすることが課題である。
			教職員定数の加配等	○	●			◆ 中学校では数学で指導方法工夫改善加配1名、小学校では算数の専科指導加配1名、通級指導加配2名を配置して、学習指導の充実を図った。
			放課後・長期休業期間等を活用した学習指導	○	●			◆ 外部人材の知見や経験を活用した放課後等学習を中学生対象に中学校で行い、学びの改善と学習習慣の定着を図った。 ◆ 小中学校で、希望者を対象とした長期休業期間の学習会を実施した。
			検定料の助成	○	●			◆ 希望する小中学生が受験する英語検定や漢字検定、タイピング検定料の一部助成を行った。
		②小中一貫教育の推進	義務教育9年間を通じた全教科の指導計画の策定など	○	●			◆ 全教科指導計画を作成し、実践した。 ◆ 実効性のある新たな推進体制の下、部会毎に学びの交流やルールづくりなどを推進した。
			乗入授業、一日登校体験などの実施	○	●			◆ 乗入授業（国語、数学、社会）、体験登校交流授業（体育、音楽）を実施した。
			小中一体となった行事の実施	○	●			◆ 幼保小中が連携して地域クリーン作戦を実施した。 ◆ 1日防災学校を小中一貫したプログラムで各校において実施した。
			義務教育学校への移行調査	○	●			◆ 施設分離型義務教育学校への移行へ向け、児童生徒数が同規模の学校を選定し、先進地の視察調査を行った。視察先：昭和五つ星学園（岡山県）、奥大山江府学園、鹿野学園（鳥取県）

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	③特別支援教育の推進	特別支援教室・通級指導教室の開設	○	●			◆ 小中学校に特別支援教室 8 学級、由仁小学校に通級指導教室の開設を継続した。
			特別支援教育支援員の配置	○	●			◆ 特別支援教育支援員を小学校に 3 人、中学校に 2 人配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じて、安心して学べる環境を整えた。
		④いじめ・不登校問題への対応	学校と行政の連携によるいじめ根絶の取組	○	●			◆ いじめ防止対策を総合的かつ効果的に推進するため、「由仁町いじめの防止等に関する条例」を制定するとともに「由仁町いじめ防止基本方針」の一部を改定した。 ◆ 教職員、教育相談員、スクールカウンセラーによる定期的な面談等を行い、不登校児童・生徒へ対応した。 ◆ 年 3 回のアンケートの実施による実態把握、「いじめゼロ集会」を実施した。 ◆ 小中一貫協議会生徒指導部会で情報共有を図った。
			スクールカウンセラーの活用	○	●			◆ 18 日（1 日当たり 4 時間）配置し、生徒・保護者との面談や教職員との情報交換、助言を行った。
			教育相談員による相談体制の充実	○	●			◆ 教育相談員による小中学校への定期的な訪問を通し、児童生徒や保護者の悩み相談や学習支援等を、教職員側からも情報を得ながら適宜対応した。
		⑤体力と運動習慣向上対策	全国体力・運動能力等調査の実施	○		●		◆ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校 5 年生及び中学校 2 年生を対象に実施した。 ◆ 全国平均対比で小学生の男女及び中学生女子が全国平均を上回ったものの、中学生男子については全国平均を下回る結果となった。学校生活以外で、運動を習慣付けられるかが課題である。
			部活動への支援	○	●			◆ 全道大会へ出場する生徒に対し交付金を交付した。
			学校施設設備の改修、整備等	—	●			◆ 小学校放送設備機器の修繕、中学校バスケットボードの修繕を実施した。
		⑥子ども達の健康維持	ゆにつ子検診やピロリ菌検査の取組	○	●			◆ 中学 2 年生を対象に実施した。（保健福祉課主体）
			フッ化物洗口事業の取組	○	●			◆ フッ化物洗口は、小学 1 年生から 6 年生までの希望者を対象に実施した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	⑦命を守る教育及び防災教育	交通安全教室等実施	○	●			◆ 小中学校において計画どおり防犯教室・交通安全教室等の開催、火災避難訓練等を実施した。
			1 日防災学校の実施	○	●			◆ 小中一貫したプログラムで各校において、1 日防災学校に取り組んだ。
		⑧教育現場における I C T の推進	児童生徒一人一台端末の活用	○	●			◆ G I G A スクール構想の実現に向け、I C T 支援業務を民間委託し、児童生徒の端末操作等、授業に支障がないよう支援を行った。 ◆ 第 2 期 G I G A スクール構想において、耐用年数が近づいていた小学校の児童用端末を更新した。
			情報モラル教育・マナー指導の実施	○	●			◆ パソコン操作のほか、インターネットや SNS などによるネットトラブルの防止に向け情報モラルやマナー指導を行った。
			外部人材を活用したプログラミング学習	○	●			◆ 小中学校において、地元業者と連携したプログラミング学習を行った。
		⑨通学時の事故防止、安全対策	道路管理者や警察、関係機関との連携、環境整備等	○	●			◆ 道路管理者や警察、ボランティア団体と連携し、通学路の安全確保に努めた。
			スクールバスの安全で効率的な運行	○	●			◆ 小学校の統合に伴い、歩いて通学することが困難な遠方に住む小中学生の通学手段として、スクールバスを 7 路線で運行した。また、平日部活便として 6 路線、土曜日など休日部活便として 4 路線で運行した。
		⑩読書習慣の定着	小中学校での読書の推進	○	●			◆ 小中学校で授業前に読書の時間を設け、児童生徒の意識改善を図った。 ◆ ゆめつく館と連携して、小学校に対し「小さな本箱」事業と学級文庫の貸出と読書相談を行った。 ◆ 小学校 4 年生に P O P 作成の授業を実施し、本への関心を引き出す機会づくりに努めた。
		⑪幼保小連携の推進	小 1 プロブレム解消に向け関係機関との連携	○	●			◆ 由仁町教育支援会議において、関係機関が連携し児童及び生徒が適切に就学できる体制づくりを進めた。 ◆ 定期的に幼保小中の福祉関係者と教育関係者が集い、情報共有を図った。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	⑫学習環境の確保	学校施設設備の改修、整備等	○		●		◆ LED化の工事については、補助金が採択されなかったことにより次年度へ見送った。 ◆ 中学校で数学教室、増設した特別支援教室に冷暖房設備の設置を行った。
		⑬就学援助の充実	要保護・準要保護世帯への就学援助費の交付	—	●			◆ 令和8年度新入学児童生徒に対して、入学準備に係る学用品費を3月に繰り上げて支給した。
2 グローバル化社会に対応した人材の育成		①国際社会の理解	外国語指導助手（ALT）の配置	○	●			◆ 小中学校に1名ずつALTを配置し、英語や外国語活動の指導を行った。また、就学前の認定こども園や保育園にも週1回程度、ALTを派遣して英語に触れる機会を確保した。
		②外部人材を活用した英語基礎学力の向上	外部人材を活用した英語授業の実施	○	●			◆ 外部人材を活用した児童への英語授業を実施した。
		③郷土の歴史や文化の学習	農業体験等の実施	○	●			◆ 小学校で由仁土地改良区やそらち南農協青年部の協力により、稲作体験を実施した。
			キャリア教育の推進（町内企業での職業体験）	○	●			◆ 町内企業で中学校2年生が職場体験を実施した。
			小学校社会科副読本の公開	○	●			◆ 昨年度改訂した社会科副読本をデジタル化に伴い、ホームページで広く一般に公開した。
		3 教職員の指導力向上と働き方改革の推進	①教職員の指導力向上	小中一貫教育推進委員会教育振興会への支援	○	●		
教職員研修の実施				○	●			◆ 学校における救命処置や応急手当の知識習得のため、消防由仁支署の協力の下、救命救急講習を実施した。
②働き方改革の推進			働き方改革アクション・プランの推進	○	●			◆ 「教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」及び「由仁町立学校職員の過重労働による健康障害防止対策取扱要領」を策定し、教育職員の時間外在校等時間、業務量及び健康確保の管理を行った。 ◆ 「学校における働き方改革アクション・プラン」に基づき、時間外在校等時間が上限を超えた教職員の人数をホームページで公表した。
			教職員の校務の効率化	—	●			◆ 事務補を各校に配置するとともに校務支援システムを活用した電子化を進めるなど、教職員の校務効率化に努めた。 ◆ 北海道教育委員会から小中学校に教頭マネジメント支援員が配置され、教頭の勤務環境の改善が図られた。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
4 地域に根差した学校づくり	教育 社会	①学校運営協議会の活動推進	コミュニティ・スクールの運営	○	●			◆ 年3回の会議において、学校の課題についての協議や次年度の学校経営方針の承認、学校関係者評価、由仁町学校支援企業バンクの運用状況報告を実施した。
	学校教育	②ゆに教育の日	一斉公開授業の実施	○	●			◆ 「ゆに教育の日」として、10月31日に小中学校とにじうこども園、三川保育園で一斉公開授業を実施し、延べ202人が参観した。
	社会教育		夢づくり子ども教育委員会の開催	○	●			◆ 小中学生13名を子ども教育委員に委嘱し、「未来に伝えたいふるさと由仁の魅力～町の未来を明るくするために、今の自分にできること～」をテーマに意見交換し、由仁町の好きなもの・ところ・行事や由仁町に残したいもの、将来の夢について発表した。
5 安全・安心な地産地消による学校給食の充実	学校給食センター	①食育の推進	栄養教諭による食育指導の推進	○	●			◆ 発達段階に応じた食の指導、親子料理教室を通じ、望ましい食習慣やバランスの良い食事について学ぶ機会を提供した。 ◆ 中学校3年生を対象に望ましい食事の量やバランス、マナー等を身につけることを目的にバイキング給食を実施した。
			由仁のものの学校給食の実施	○	●			◆ 産業振興課と連携し、8月～11月の給食68回中、59回に地元産の野菜や加工品を使用し、地産地消による食育を推進した。
			安全・安心な学校給食の提供	○	●			◆ 各業務受託業者との連携を密にし、調理中、運搬中の衛生管理に努め、安心安全な給食を提供した。
6 大学・高校との連携推進	学校教育	①連携協定校等との連携	連携・交流の推進	○	●			◆ 連携協定校や江別市内4大学が連携した学生地域定着推進広域連携協議会（ジモ×ガク）の学生を活用し、小中学校の長期休業学習会を実施した。
7 生涯学習の推進	社会教育	①青少年の健全育成	4町合同青少年リーダー研修会の開催	—	●			◆ 長沼町を会場に「テント設営、BBQ、くんせい体験」を開催した。4町から24名（うち由仁町4名）が参加し、交流を深めた。
			子どもの安全対策の推進	○	●			◆ ゆにっ子見守り隊・防犯協会・PTA連合会等と連携し、登下校時の安全対策や不審者情報を共有した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
7 生涯学習の推進	社会教育	①青少年の健全育成	望ましい生活習慣の定着	—	●			◆ 「早寝、早起き、朝ごはん運動」等の4つの取組を推進するため、今年度も小中学生を対象に啓発ポスターの募集を行い、受賞者を表彰するとともに作品を文化祭に展示した。
		②高齢者大学	高齢者大学「アカデメイア・ユニ」の開催	○	●			◆ 前期「空知」、後期「日本」をテーマに全16回24講座を実施した。(在籍：45名)
		③女性の活躍や交流の促進	女性セミナー「フィーカ」の開催	○	●			◆ 「きらっとLife〜つなぐ〜」と連携し、全9回の講座を実施した。
		④英会話教室の開催	ネイティブのALTによる実施	○	●			◆ ALTを講師とした英会話教室を49回実施し、日常会話等を通じ、英語に触れる機会を創出した。(参加者：延べ314名)
	ゆめつく館	⑤「知の拠点」として図書館機能の強化	管理運営の効率化の検討	○		●		◆ 情報センターとしての機能を強化するため、ホームページでの新刊情報や行事案内の発信に努めた。
			町民の読書習慣の定着	○	●			◆ 図書館の仕事を体験することにより、本や読書への関心を高められるよう読書イベント「としょかんのおしごとたいけん」や「絵本展」を実施した。 また、一般対象に「北海道みんなの日」に合わせて資料展を開催し、郷土理解の啓発に努めた。 ◆ 「あおぞらととしょかん」は77名「おはなし会」は189名の参加があり、図書館利用の機会となった。 ◆ 保護者に向けて、本の楽しみと家庭読書の大切さを伝えるため、三川保育園で本を貸出する読書支援事業「気ままに1冊」を実施した。
			ゆめつく館の管理	○	●			◆ 夏の読書環境整備のため、冷暖房設備を整備した。
8 芸術・文化・スポーツ活動の推進	社会教育	①芸術文化、郷土芸能活動の奨励	由仁町文化連盟への支援及び文化事業の実施	○	●			◆ 由仁町文化祭の実施に対し補助金を交付するとともに、事業実施時に人的協力を行い支援した。
			文化交流館事業実行委員会への支援	—	●			◆ 交付金を交付し、住民参加型の歌謡大会など様々な事業を支援した。 3つのイベントにより、住民の芸術文化に対する意識高揚の推進に寄与した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
8 芸術・文化・スポーツ活動の推進	社会教育	②スポーツ活動の推進	第35回 全町自治区対抗ソフトボール大会	—	●			◆ 参加チーム数の減少に伴い、参加者の利便性と運営の効率化を考慮し、会場を由仁中学校に集約して実施した。また、大会運営に江別市4大学による学生地域定着推進広域連携協議会（ジモ×ガク）を活用した。 参加数：8チーム（14自治区） 121名
			第16回 ゆっくり由仁ウォーキング	—	●			◆ 由仁町スポーツ推進委員、由仁スポーツクラブとの共催により実施した。 参加数：65名
			第24回 ミニバレーボール大会 （旧 冬季ミニバレーボール大会）	—	●			◆ スポーツクラブ、スポーツ推進委員による運営により実施した。 参加数：5チーム（45名）
		③体育関係団体への活動支援	スポーツ推進委員の活動の充実	○	●			◆ 年1回の会議のほか、近隣4町スポーツ推進委員交流会、ゆっくり由仁ウォーキングの企画運営や町主催事業、スポーツクラブ主催事業等への協力を行った。
			スポーツ協会・スポーツ少年団への支援	○	●			◆ 補助金を交付し、スポーツ協会及びスポーツ少年団の活動を支援した。スポーツ少年団交流事業では、ボール運動プログラム「バルシューレ」を体験した。
			総合型地域スポーツクラブとの連携	○	●			◆ 補助金を交付し、ヨガ教室、ミニバレーボール大会の開催を支援した。
	学校教育	④中学校休日部活動の地域移行	推進協議会の運営	○	●			◆ 協議会を2回開催し、休日部活動の地域移行について協議を進めた。
			実証事業	○	●			◆ スポーツ庁の委託事業の採択を受け、休日部活動への地域人材の参画を進め、種目にとられない身体づくりを実施した。
			環境整備	—	●			◆ 教職員が地域クラブ活動に適正かつ円滑に従事できるよう「由仁町立学校教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する要綱」を策定した。
	社会教育	⑤がんばれ応援基金の活用	基金による子ども達の活躍の後押し	○	●			◆ スポーツで活躍する町内の子どもたちが全国大会に出場する際に旅費等を助成した。 令和7年度該当件数：5件（11名）
		⑥文化・スポーツ各施設の適正管理	文化交流館の管理運営	○	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。（5年契約の3年目） 吊物装置制御盤・操作盤部品交換工事を行った。
			町民由仁プールの管理	○	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。（3年契約の3年目） ◆ 省エネ対策として照明設備LED化を行った。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
8 芸術・文化・スポーツ活動の推進	社会教育	⑥文化・スポーツ各施設の適正管理	町民三川プールの管理	－	●			◆ 計画どおり夏期 30 日間運営
			町体育館の管理 学校開放事業の実施	○	●			◆ 町体育館の休館に伴う利用者の活動場所を学校施設開放事業により確保した。 町体育館の今後の方針は検討中。
			伏見台球場の管理	－	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。(単年契約)
			勤労福祉センターの管理	○	●			◆ 必要な修繕、保守を行った。
			小中学生の体育施設等の使用料無償化	－	●			◆ 小中学生が団体や個人で使用頻度の高い施設の使用料無償化措置を継続し、子どもたちの活動の場の提供に努めた。

5 事務評価委員会の総括意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の規定に基づき、令和8年7月24日に開催された教育委員会事務評価委員会において、教育委員会から提出を受けた資料（基本施策8項目に基づいて実施した事務事業の点検・評価）について、教育委員会事務局から説明を受け、これに対して意見交換を行いました。

令和7年度由仁町教育委員会点検・評価報告書は、令和7年3月4日開会の令和7年由仁町議会第1回定例会において教育長が示した教育行政執行方針に沿って内容が整理され、個別の事務事業について、評価項目ごとに自己評価（A～C評価）が行われています。また、取組みの成果や課題等が具体的に記載されており、教育行政の取組を把握する上で重要な報告書となっています。

当委員会としては、報告書に記載された各分野の特筆すべき事項を踏まえ、以下のとおり意見を申し述べます。

点検・評価結果に基づいた意見

（1）教育委員会の活動状況

教育委員会定例会を12回、臨時会を3回開催し、各教育委員から課題解決に向けた積極的な発言、慎重な議案審議による円滑な会議運営が図られており、成果を上げています。令和7年10月22日付けで清水理絵教育委員が新たに就任され、新体制による教育諸施策のさらなる推進を期待しています。

教育長、教育委員の活動においては、年2回の学校訪問により教育現場の現状や児童・生徒の学習状況の把握や施設分離型義務教育学校の先進地視察を実施し、課題や運営上の工夫の把握に努めるなど、将来を見据えた取組が着実に進められています。また、小中一貫教育推進協議会や部活動地域移行推進協議会などの関連委員会では、少子化や教員の働き方改革といった社会情勢を踏まえた取組に対する共通理解の醸成が進み、連携体制の強化と今後の具体的な推進方策について丁寧に意見交換を行っています。

教育関連の表彰においては、教育委員会表彰では学校教育振興で1人、スポーツ成績優秀の分野で1人、がんばる子ども表彰では、学芸、体育、努力の各表彰部門で2団体17個人が受賞し、大きな励みとなっています。

(2) 主要施策・事務等の取組状況

学校教育では、多項目にわたり積極的な事業が進められ、特に一人一人の個性を伸ばす教育の推進においては、時代に即応する取組が図られています。

社会教育では、多様な価値観などの様々な社会変化の中で、人生100年時代の生涯学習社会を後押しする社会教育の充実と推進に向けた各種事業が着実に実施されています。

①学校教育の充実

全国学力・学習状況調査では、小学生は国語は下回りましたが、算数、理科で全国平均を上回り、学力向上を目的とした教職員の加配による効果が見られました。中学校では、国語、数学、理科のいずれも全国平均を下回りましたが、小中一貫教育推進協議会教育研究部による結果分析や課題把握を授業改善につなげること、教職員の加配や外部人材を活用した中学生の放課後学習、小中学生を対象とした長期休業期間の学習会など、児童生徒自らが学習習慣や基礎学力の定着を感じられる取組みに引き続き期待します。

小中一貫教育の推進では、義務教育9年間で目指す15歳の姿の実現に向けて、合同部会や専門部会において各学年段階で育成すべき資質・能力や取組の成果を共有し、検証を重ねながら、9年間を見通した実効性のある取組みが図られています。

いじめへの対応については、「由仁町いじめ防止等に関する条例」が制定されたことは大きな成果と評価します。また、年3回のアンケートや小中一貫教育推進協議会生徒指導部会による協議、情報共有が行われていますが、小さな予兆も見逃すことのないよう、引き続き、教員の連携を強めて対応をお願いします。不登校の問題においても、多様化、複雑化する要因に対応すべく、スクールカウンセラーや教育相談員によるきめ細やかな対応を引き続きお願いします。

I C Tの推進では、G I G Aスクール構想の実現に向けI C T支援業務を民間委託し、児童生徒の支援が図られています。必要な知識・技能を教職員一人一人が身に着け、指導方法の工夫、業務改善が一層図られることを望みます。また、タブレットやスマートフォン端末は非常に便利な物であり、現代の生活にかかせない物となっている反面、ネットトラブルとは背中合わせの状況です。日々進化し続けるこの分野に関し、学校だけではなく家庭生活も含めた情報モラル教育をこれまで以上に進められるようお願いします。

子どもたちの読書習慣は、語彙力、表現力及び思考力の育成につながる重要な取組であり、学校と図書館が連携し、継続的に読書に親しむ機会を確保する必要があります。

授業前の読書活動やゆめつく館と連携した「小さな本箱」事業、学級文庫の貸出及び読書相談、小学校4年生を対象にしたPOP作成の授業により、読書への関心を高める機会を創出しました。今後も学校とゆめつく館が連携し、読書習慣の定着に向けた取組に期待します。

②グローバル化社会に対応した人材の育成

外国語指導助手（ALT）を小中学校に各1名配置し、実践的英会話やコミュニケーション能力の向上に向け、積極的に展開されています。また、英語基礎学力の習得に向け、教員免許を所持している外部人材を活用した施策の充実が確認されました。外国語を学ぶことは、将来の選択肢を広げることに繋がりますので、今後も特色のある学びの推進に期待をしています。

③教職員の指導力向上と働き方改革の推進

社会変化に柔軟に対応できる子どもを育てていくため、今後も様々な動向に感度を高めて、学校教育の担い手である教職員自らが指導力向上に向けて学び続けていくことを望みます。また、教職員の働き方改革は、単なる業務時間の短縮ではなく、「子どもと向き合う時間の確保」が第一の目的であることを再認識いただくようお願いします。

他方で、全国各地で教職員の個人情報紛失、交通違反・事故、ハラスメント等の不祥事が後を絶ちません。引き続き不祥事を生み出さない組織づくりへの取り組みをお願いします。

④地域に根差した学校づくり

コミュニティースクールでは、学校の課題や経営方針の承認、評価のほか、学校支援企業バンクの運用状況について協議が進められています。学校と地域をつなぐ大切な組織ですので、今後も一歩ずつ組織が成長することを期待します。

ゆに教育の日の活動では、一斉公開授業や夢づくり子ども教育委員会が開催されています。夢づくり子ども教育委員会では、「未来に伝えたいふるさと由仁の魅力～町の未来を明るくするために、今の自分にできること～」をテーマに、子ども達が思い描く由仁町の未来について議論されていました。

⑤安全・安心な地産地消による学校給食の充実

町内で収穫された野菜や加工品を使用した由仁のものの学校給食や食事量やマナー等の習得を目的としたバイキング給食の実施など、工夫を凝らした

食育指導が図られています。今後も地元産、道産、国産食材を基本とし、衛生管理の行き届いた、安全・安心な学校給食の提供をお願いします。

⑥大学・高校との連携推進

小中学校の長期休業期間中の学習会への学生ボランティア、アカデメイア・ユニへの講師派遣を受けるなど、関連校との連携は着実に推進されています。今後もこうした連携を一層深め、児童生徒の学習機会の充実や地域全体の教育力向上につながる取組の推進が期待されます。

⑦生涯学習の推進

高齢者大学「アカデメイア・ユニ」では、「空知」や「日本」をテーマに文化、歴史、社会制度など多岐にわたる充実した講座の実施を確認しました。今後も魅力ある学習プログラムを提供されることを望みます。青少年の健全育成、女性活躍等では、4町合同青少年リーダー研修会や女性セミナー「フイーカ」、ALTによる英会話教室が実施され、積極的な交流が深められています。

ゆめっく館の運営については、図書館が「知の拠点」として町のホームページを活用した新刊情報や行事案内など積極的な情報発信が行われていました。更に、読書週間の定着を目的に幼児や児童を対象とした「としょかんのおしごとたいけん」や「絵本展」、保護者を対象にした「気ままに一冊」などが実施されています。

また、冷房設備が整備されましたので暑熱時における地域住民の居場所づくりと読書活動の促進につなげる新たな取組に期待します。

⑧芸術・文化、スポーツ活動の推進

文化交流館事業実行委員会による鑑賞型、参加型のイベント、55回を迎えた文化連盟による町民文化祭、芸能音楽発表会が実施され、芸術文化の振興に繋がりました。今後とも連携を保ち、支援の継続をお願いします。

スポーツ活動では、ウォーキング、ミニバレーボール大会等がスポーツ推進委員やスポーツ協会などと協力して行われていますが、ソフトボール大会については、参加チーム数が減少傾向にあること、運営に不可欠な審判員の高齢化も踏まえ、今後のあり方について検討する必要があります。

また、がんばれ応援基金を活用して、5件11人の全国大会出場者の支援が行われました。今後も子どもたちの活躍の後押しができるよう、継続的な支援と合わせ、対象区分の拡大についても検討していただくことを望みます。

中学校の休日部活動地域移行は、新たに教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する要綱が策定されましたが、指導者の確保、

安全管理、費用負担、施設利用、送迎体制などを総合的に整理し、関係者と十分に協議を進めることが求められます。引き続き、学校・地域・保護者との連携を丁寧に図りながら、段階的かつ実効性のある取組みについて議論し、より良い方向性を見出していくことを望みます。

施設管理の面では、省エネ対策として町民プールの照明設備のＬＥＤ化が進められた一方で、社会体育施設の老朽化などの課題も残されています。今後は、各施設の安全性と快適性を確保するとともに、施設の利用状況や老朽化の程度、維持管理に要する費用なども踏まえながら、適正な管理と今後の在り方の検討を進めていただきたいと思います。

(3) 全体講評

現代社会は、ＡＩの進展やグローバル化、少子高齢化など大きく変化しており、教育行政には、こうした時代の動きに的確に対応しながら、未来を見据えた取組を進めることが求められています。

令和７年度由仁町教育委員会点検・評価報告書は、学校教育及び社会教育の取組状況や成果、課題が分かりやすく整理されており、各事業が地域の実情に応じた工夫や関係機関との連携により着実に進められている点からもその取組は高く評価できます。

令和８年度以降も、教育現場や地域の声を丁寧に受け止めながら、子どもたち一人一人の可能性を伸ばし、将来に向かって力強く成長できる教育の推進を期待します。

学校教育では、学力・体力の向上や、いじめ、不登校問題を含めた児童・生徒指導の充実、教職員の資質向上と働き方改革の両立、社会教育においては、地域の学びや交流、生涯学習の機会の充実、教育施設の適切な管理に努め、子どもたちや町民の学びを支える体制の強化を期待し、当委員会の総括意見とします。